



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# レトワールジャパン株式会社 — 部下を辞めさせるということ —

5

### 九段ビジネススクールの研究室

10

九段ビジネススクール教授の浅田は夕暮れの研究室で、MBA 学生に課題として出したケース作成の採点をしていた。多くのケースで表現される様々なビジネス上の課題に浅田はうなずいたり、笑ったりしながら、採点を進めていた。その中で一つのケースが浅田の興味を引いた。浅田は珈琲を新しく入れて、じっくりケースを読み始めた。

15

### MBA 学生から提出されたケース

2009 年初頭。旅行先のハワイから帰国の途についていた乃木亮太は、乱気流に揺られながら、明日から始まる業務について思いを巡らせていた。新年度最初の業務は、部下の査定面接である。34 歳の乃木が評価しなければならないのは、今年で 48 歳を迎えたベテラン男性社員の里岡高志だった。会社の評価基準に従えば、里岡を現在のポジションに置いておくことはできない。しかし、乃木が入社直後は里岡からレトワールジャパンでの仕事の仕方を教わった。それに里岡には家庭があり、二人の子供がいる。日本到着まではまだ 7 時間近くあるにも関わらず、乃木はまったく眠れる気がしなかった。

25

本ケースは MBA 学生加藤晋輔 (M33) が法政大学大学院教授高田朝子の指導の下、クラス討議の資料とするために作成したものであり、経営の巧拙を例示するものではない。会社名、個人名、および事業に関する若干の事実は偽装されている。著作権は慶應義塾大学ビジネススクールに所属する。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 高田朝子、加藤晋輔 (2011 年 5 月作成)